

事業計画書(その1)

①団体の目的 *定款、規約、会則等に定めている目的を、そのまま転記してください。

岡山県内で介護を必要とする高齢者及びその家族並びに介護に関わる機関又は関係者に対して、ITとネットワークを活用した実効性ある支援活動を行い、介護事業全体の質の向上と地域福祉の発展を図ることにより、来るべき日本の超高齢化社会に対して安心して暮らせる環境作りに寄与。

②事業の分野

☒保健、医療又は福祉の増進 ☒社会教育の推進 ☒まちづくりの推進
☐観光の振興 ☐農山漁村又は中山間地域の振興 ☐学術、文化、芸術又はスポーツの振興
☐環境の保全 ☐災害救援 ☐地域安全 ☒人権の擁護又は平和の推進 ☐国際協力
☐男女共同参画社会の形成の促進 ☐子どもの健全育成 ☒情報化社会の発展
☐科学技術及び学術の推進 ☒経済活動の活性化 ☐職業能力の開発及び雇用機会の創出
☒消費者保護 ☐団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助

③事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。

社会貢献・社会参加をしたい高齢者に対し、介護事業所でのボランティア、もしくはその取材を体験する講座を開催。講座は座学、グループワーク、介護事業所での体験を含む。取材内容はミニコミ誌として制作し、印刷配布する。また、成果発表会を開く。

④社会的背景と解決しなければならない課題

*提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。

【背景】高齢者が社会とのつながりの中で自分の「役割」を持つことは、本人の楽しみや生きがいを増し、孤立化や認知症の予防にもつながる。地域社会の担い手としても欠かせない。しかし、ボランティア等は未経験者にとって敷居が高く、第一歩を踏み出すのが難しい。

実際、倉敷市が65歳以上の市民を対象とした、介護保険施設等でボランティア活動を行い、その実績に応じてたまったポイントを換金できる仕組み「倉敷市介護支援いきいきポイント制度」の登録者は568人(H26.10.1現在)で、対象者94,111人(H26.3.31現在)の0.6%に過ぎない。

社会参加をしたい高齢者の「第一歩」を提供すると共に、介護現場の体験を通じて、認知症や介護予防への意識を高めてもらう。

⑤受益者の範囲 *提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

- 65歳以上の、主にボランティア等未経験の市民(30～50名)
- 介護保険事業所

⑥事業の成果 *④の課題に対して、事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

- 体験を通じて、高齢者自身が生きがいや役割を見い出すきっかけとなる。
- 認知症や介護予防への意識が高まる。

- 地域の介護事業所を知る機会を提供できる。
- 「倉敷市介護支援いきいきポイント制度」の登録者、受入機関が増加する。

⑦事業の目標

*⑥の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

- 「倉敷市介護支援いきいきポイント制度」の登録者、受入機関の10%以上の増加
- ミニコミ誌(報告書)の完成と配布

事業計画書(その2)

⑧事業の詳細

*実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

4～6月: 準備

会場・日程・講師等の決定、体験および取材受入介護事業所の募集(事業所への説明会)、広報

6月後半～7月: 第1回講座 (座学、グループワーク)(3時間程度)

- ・会場: 30～50名程度が入れる場所(ライフパーク、健康福祉プラザ等)
- ・内容: 高齢者・認知症の基礎知識、ボランティア体験者談、コミュニケーションの取り方

7月: 第2回講座 (座学、グループワーク)(3時間程度)

- ・会場: 30～50名程度が入れる場所(ライフパーク、健康福祉プラザ等)
- ・内容: ボランティア内容紹介(写真、ビデオ)、取材方法と記事の書き方、実地体験のグループ分け、役割分担、オリエンテーション

7月後半～9月: 第3回講座 (介護施設でのボランティア・取材体験)

- ・会場: 各介護事業所 (場所によって開催日は異なる)

9月後半～10月: 第4回講座 (主にグループワーク)(3時間程度)

- ・会場: 30～50名程度が入れる場所(ライフパーク、健康福祉プラザ等)
- ・内容: 体験を通じてのディスカッション、記事の作成、発表会準備、(希望者のみ)ボランティア団体への登録

(体験発表会までに)ミニコミ誌の印刷等

12月～2月: 体験発表会、ミニコミ誌の配布 (設営含め3～4時間程度)

- ・会場: 50～150名程度が入れる場所(ライフパーク、健康福祉プラザ等)

⑨受益者負担 ※団体の財源確保のため, 可能な限り参加費等を徴収してください。

*参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

☒ 徴収する ・ ☐ 徴収しない

*「徴収しない」とした場合, その理由を記入してください。

事業計画書(その3)

⑩事業の見通し *2年後, 3年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。

- ・規模(対象人数)の拡大、今年度の体験者を次年度のファシリテータ等に活用
- ・体験受入先の拡大により、バリエーションを豊富にする

⑪団体の能力の活用

*団体の持つ能力や特色を, 課題の解決にどう活かしていきますか。

高齢者や介護セミナー、研修等を通じて、複数の介護事業所との交流がすでにあり、体験受入先の確保がしやすい。

チラシ、機関誌、ホームページ、SNS、ニュースリリース等を通じての情報発信を普段から行い、取材や記事制作のための支援(講師、サポーター等)が可能。

⑫他団体等との協力

*他団体等と協力して事業を行う場合は, その団体名や役割を記入してください。

(採択後に協力依頼)

- ・倉敷社会福祉協議会および、ボランティアセンター
- ・倉敷市介護保険事業者等連絡協議会、倉敷市地域包括総合支援センター・・・ 広報協力

⑬行政との協働 ※自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名 () 主部署の同意 (あり ・ なし)

その他の部署名 (,)

協働する部署との協議

月 日 (内容:)

月 日 (内容:)

月 日 (内容:)

協働する部署の役割

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費、受講料など)	15,000	参加費(ボランティア保険含む)1人500円×30人
会費からの繰入金	67,000	
そ の 他		
市補助金	300,000	
合 計	382,000	

(支出の部)

(単位：円)

区分	項 目	金 額	内 容
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの、交通費を含む)	30,000	交通費
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	36,000	900円×5時間×2人×4回
	謝 金 (講師等に支払うもの)	120,000	15,000円×2人×3回、5,000円×2人×3回
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	12,000	1,000円×12人
	消耗品費	30,000	文具、会場・発表会の垂れ幕・案内板等
	印刷製本費	80,000	案内チラシ・申込書(事業所向けと参加者向け)、講座資料、ミニコミ誌の各印刷費
	通信運搬費	25,000	案内発送、受講票発送 @82×300通
	保険料	9,000	ボランティア保険
	使用料、賃借料	40,000	@10,000円×4回
	委託料		
	小計 ①	382,000	
経費② (対象外経費)	報償費・人件費		
	食糧費		
	その他		
	小計 ②	0	
合 計		382,000	

(記入上の注意)

- ※ 団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。
- ※ 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
- ※ 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
- ※ 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。
- ※ 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。